

令和4年度厚生労働科学研究費補助金
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究事業)
分担研究報告書

正確な疾病リスクの把握と保健指導に資する喫煙状況の評価法の研究

研究分担者 松尾恵太郎 愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野 分野長

研究要旨

喫煙は多くの疾病と密接に関連することが広く知られており、喫煙状況の正確な評価は効率的なハイリスク者の特定と保健指導に必要である。喫煙者に対する保健指導は多くの疾病の予防につながる。本研究では、特定健診の保健指導の資料として用意されていた、詳細な質問項目や標準的な質問票の解説について、現在の状況や新たなエビデンスを反映して改訂を行った。本研究により効率的な保健指導の実施と効果的な禁煙への導入が期待される。

A. 研究目的

喫煙は多くの疾病と密接に関連することが知られている。そのため、喫煙状況の正確な把握は様々な疾患のハイリスク者の特定に有用である。また、保健指導の際は喫煙者が禁煙することで種々の疾病リスクを大きく減らす効果が見込まれることから、喫煙状況に応じた保健指導が必要である。これまで特定健診の際の質問票では受診時の喫煙状況を尋ねただけであった。しかし昨年度の本研究班からの提案により、現在喫煙・過去喫煙・生涯非喫煙の3分類による評価に改訂された。これを受けて、新しい質問項目の下で行われる保健指導の実施の助けとなることを目的として、標準的な健診・保健指導プログラムの改訂および保健

指導の詳細な質問項目の改訂を行った。

B. 研究方法

喫煙のリスクと禁煙の効果に関する関して日本で行われた疫学研究をレビューし、保健指導の参考となるエビデンスの整理を行った。喫煙者に対する禁煙指導について日本で行われた研究のレビューを行い、効果的な禁煙指導の方法についてまとめた。更に喫煙対策に関連する法律・ガイドラインとその記載の整理を行った。これらのエビデンスを元に喫煙に関する保健指導の際の詳細な質問項目や標準的な質問票の解説の改訂を行った。
(倫理面での配慮)
この研究方法は、既報告の結果や公開された情報に基づいて実施されており、倫理面での問題はない。

C. 研究結果

● 詳細な質問項目の改訂

特定健診の保健指導を行う際の詳細な質問項目の改訂を行った。

保健指導では生涯非喫煙者については受動喫煙状況の確認を行う。受動喫煙による肺がん・心筋梗塞・脳卒中リスクの上昇のエビデンスの提供を行う他、職場の受動喫煙防止の根拠となる法律（労働安全衛生法および健康増進法）の情報提供を行った。

現在喫煙者については喫煙期間・1日喫煙量の質問を行い、累積喫煙量など詳細な喫煙状況を把握する。過去喫煙者については喫煙時の状況に加えて禁煙継続期間を確認することで、禁煙継続支援に繋げる。また、起床後最初の喫煙までの時間を質問することでニコチン依存度の推定を行う。ニコチン依存度は禁煙の困難さと相関するため、保健指導や禁煙外来への誘導などの対策を考える際の参考となる。

● 標準的質問票の解説

喫煙に関する保健指導を行う際のエビデンス・聞き取りポイント・声かけの例・留意事項・対応方法について解説を行った。エビデンスについてはこれまで動脈硬化・脳卒中・虚血性心疾患・2型糖尿病・中性脂肪・LDL コレステロール高値・HDL コレステロール高値について紹介されていたことに加

え、全がん・肺がんリスクと禁煙によるリスク低下を追加した。

聞き取りポイントについては紙巻きたばこだけでなく加熱式たばこの仕様についての聞き取りに注意が必要であることを明記した。

声かけの例および対応方法については特に禁煙に対する関心を高め、禁煙の実行に繋げる具体的な方法を記載した。ただし紙幅に限りがあるため禁煙支援簡易マニュアルの紹介とリンクの掲載で補足した。

D. 考察および結論

特定健診の質問票で過去喫煙を含めた喫煙状況を尋ねるようになることで、過去喫煙者を把握し、禁煙達成と継続に対するポジティブな評価と今後の継続への支援がしやすくなると思われる。一方で喫煙者についてはより詳細な喫煙状況の把握が必要であり、本研究で改訂を行った詳細な質問項目がその一助となる事が期待される。また、改訂された標準的質問票の解説により保健指導の効率化が期待される。

E. 研究発表

1. 論文発表

- Masaoka H, Matsuo K, Oze I, Kimura T, Tamakoshi A, Sugawara Y, Tsuji I, Sawada N, Tsugane S, Ito H, Wada K, Nagata C, Kitamura T, Zha L, Sakata R, Ozasa K, Lin Y,

Mizoue T, Tanaka K, Abe SK, Inoue M. Cigarette smoking, smoking cessation and bladder cancer risk: A pooled analysis of ten cohort studies in Japan. *J Epidemiol.* 2022.

- Lee S, Jang J, Abe SK, Rahman S, Saito E, Islam R, Gupta PC, Sawada N, Tamakoshi A, Shu XO, Koh WP, Sadakane A, Tsuji I, Kim J, Oze I, Nagata C, You SL, Shin MH, Pednekar MS, Tsugane S, Cai H, Yuan JM, Wen W, Ozasa K, Matsuyama S, Kanemura S, Shin A, Ito H, Wada K, Sugawara Y, Chen CJ, Ahn YO, Chen Y, Ahsan H, Boffetta P, Chia KS, Matsuo K, Qiao YL, Rothman N, Zheng W, Inoue M, Kang D, Park SK. Association between body mass index and oesophageal cancer mortality: a pooled analysis of prospective cohort studies with >800 000 individuals in the Asia Cohort Consortium. *Int J Epidemiol.* 2022;51:1190-203.
- Elshair M, Ugai T, Oze I, Kasugai Y, Koyanagi YN, Hara K, Ito H, Matsuo K. Impact of socioeconomic

status and sibling number on the prevalence of *Helicobacter pylori* infection: a cross-sectional study in a Japanese population. *Nagoya J Med Sci.* 2022;84:374-87.

- Usui Y, Taniyama Y, Endo M, Koyanagi YN, Kasugai Y, Oze I, Ito H, Imoto I, Tanaka T, Tajika M, Niwa Y, Iwasaki Y, Aoi T, Hakozaki N, Takata S, Suzuki K, Terao C, Hatakeyama M, Hirata M, Sugano K, Yoshida T, Kamatani Y, Nakagawa H, Matsuda K, Murakami Y, Spurdle AB, Matsuo K, Momozawa Y. *Helicobacter pylori*, Homologous-Recombination Genes, and Gastric Cancer. *N Engl J Med.* 2023;388:1181-90.

2. 学会発表 該当なし

F. 知的財産権の出願・登録状況 該当なし